

えんの下の力持ち

藤沢市立村岡小学校四年一組

カタヤマ

ミヤキ

大雨の後、川や海の水がにごっているのを見て、「下水道にはあずかることができない量が決まっている」と本に書いてあったことを思い出しました。日本はえい生的、安心安全だと信じ切っていたので、あずかることができない量をこえてしまった雨水や汚水は、そのまま川や海へと流すしかないということを知りおどろきました。大雨がふったら日本のえい生がたもたれないこともあるなと思いました。

下水道はどんな仕組みになっているのか調べてみました。下水道の役割は「生活かきよいのほ全」、「しん水のほうじよ」、「水しつよひしせつの有こう利用」の四つあることを知りました。また、下水道のしよ理方法も、汚水と雨水をいっしょに流す「合流式下水道」と汚水と雨水を別々に流す「分流式下水道」

があることを知りました。藤沢市の下水道し  
よ理区いきは、南部しよ理区、東部しよ理区、  
相模川流いきしよ理区の三しよ理区に分けら  
れていきます。南部しよ理区は、つじどうじよ  
う化センターでしよ理し相模わんへ放流して  
いる区いきです。一部の区いきをのぞき合流  
式下水道をさい用し、大庭、片瀬、つじどう  
地区の一部については分流式下水道をさい用  
しています。わたしのすんでいる村岡地区は  
分流式下水道のようでした。東部しよ理区は、  
大清水じよう化センターでしよ理しさかい川  
へ放流している区いきで、分流式下水道をさ  
い用しています。相模川流いきしよ理区は、  
やなぎ島水さい生センターでしよ理をし相模  
わんへ放流している区いきで、分流式下水道  
をさい用しています。

さらに調べていくと、汚水は下水道かんを  
流れていき、さい最終的に下水しよ理場にたど  
り着き、ちんさ池、さいしよちんでん池、反  
のうタンク、さい終ちんでん池、しようごく

せつびを通って汚水がきれいになっていくことが分かりました。その水は、水じょう気な  
って雲になり、雨になり、川や海にもどされる  
そうです。つまり、めぐりめぐってまた私  
達のところへもどってきます。きれいな水か  
汚い水か、全て私達次第なんだな、きれいで  
安全な水は私達がつくることかてきると思っ  
ました。

そのためにもどのような工夫ができるのかを  
考えてみました。一つは、使い終わって油は  
下水道に流さず、紙やぬのいしみこませたり、  
ペットボトルにはい油として分別する。もう  
一つは、食器の汚れはふき取ってから洗う。  
このように、できるかぎり水を汚さない工夫  
ができると思います。

また、わたしたち四年生にもできることは  
ないかと考えてみました。食べるのこし飲みの  
こしをしないことだと思います。たとえば、  
お皿のこし、たドレッシングやソース類も水  
を汚してしまいます。ほんの少しのことでも

みんなが気をつける大きな力になるので行動にうつしていかなければいけないと思います。

日本は安心安全でいい生的だとみんな思っています。それは、みんなで力をしているにしていくことが大切であり、下水道の力が大きいなと思うようになりました。下水道は道路の下にあり、人目につかないところにあります。下水道はえんの下のカ持ちだと分かりました。